

市政NEWS

月一会 つきいちかい 市政は皆の笑顔のために。

【編集発行】伏見ゆきえ 政務活動事務所

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町447-1 プラージュ戸塚502

TEL 045-443-5757 FAX 045-443-5671

E-mail: office@fushimiyukie.com



【活動報告】女性視点で災害対策を強化

年明けの能登半島地震に次いで、4月17日に豊後水道を震源とする震度6弱の地震が高知と愛媛で発生しました。南海トラフ地震への危機感が強まる中、遅れを感じる災害時の女性視点に基づいた支援に早急に取り組む必要があります。

今後、避難所での授乳時や着替え、プライバシーの確保、性的嫌がらせへの配慮に加え、高齢者をはじめ障害者、乳幼児、妊産婦など『災害時要援護者』に配慮した対策は必須です。

能登半島地震でも国は石川県に、避難所運営などにおける男女共同参画の視点を取り入れるよう要請を出しました。また昨年度所属した減災対策推進特別

委員会で、災害時の避難場所における女性の立場や役割、課題について強く訴えてきました。

今後の災害対策に関する国の調査で、避難所運営や備蓄を担当する防災部署の女性職員0人の市町村は全国で55%を超えます。女性職員が10%以上いると生理用品や乳幼児ミルク、紙オムツなどの備蓄が進んでいる傾向が別の調査で明らかになりました。横浜市は危機管理室全体で女性職員が占める割合は、20%と県内でも低い数字ではありません。しかし現場拠点での女性の参画は十分ではありません。

長期にわたる避難所生活を少しでも快適に過ごしてもらうために、避難所の

衛生環境確保に必要な清掃サービスや、避難者に温かい食事を提供してくれる民間企業と市が協定を結べるようになる制度の確立など、積極的に働きかけていきます。



【活動報告】女性のトータルヘルスケア

男性と異なり女性は年齢に応じた女性ホルモンのステージが訪れます。女性ホルモンが分泌し上昇を始める思春期、分泌が安定する性成熟期、劇的な変化をきたす妊娠期や産褥期、急激に低下する更年期、そして低い値で安定する老年期。女性ホルモンの影響で起きるのが月経(生理)で、それぞれのステージとの付き合い方や過ごし方で女性の健康寿命は大きく左右されます。

横浜市は特定の年齢の人に子宮がん検診の無料券を配布しています。

しかし女性の疾患は子宮がんだけではありません。子宮筋腫や子宮内膜症、子宮腺筋症など子宮摘出が必要となる

疾患は子宮がんよりも多く、また子宮疾患と関わり深い月経トラブルは多岐にわたります。月経トラブルはプライバシーなこととして捉え、多くの女性が他人に気が付かれないよう配慮をしたり、我慢をしたりする傾向にあります。「子どもが欲しい」と思った時に子宮や卵巣に疾患が見つかる、といった事例が妊娠可能年齢の30、40代に多く、先の配慮や我慢が疾患を気が付かないうちに進行させていることもあります。

横浜市では小学校6年から高校1年生相当の女子に子宮頸がんワクチン接種を勧奨しています。ワクチン接種のタイミングを「女性のトータルヘルスケア」

の入口に繋がる機会と捉え、月経に悩み始めた思春期から気軽に婦人科で診察を受け、早期に月経トラブルが解消できるよう働きかけていきたいと思っています。





ココに注目!!

効率化と利便性向上を目指す 連節バスが運行開始

連節バス「ツインライナー」が7月1日から戸塚区で走り始めました。当日は運行開始式が行われ、出席をしました。連節バスは大量輸送のために車体が2連以上につながっていて一度に100人以上が運べます。戸塚バスセンターからドリームハイツを結ぶ路線は横浜医療センター、横浜薬科大学、俣野公園などがあり利用者の多いバス路線です。1度に多くの輸送を可能にする連節バスの導入で、効率化を図り同路線の運行便数を減らすことが可能となりました。その結果、他路線に経営資源を再配分でき、今後の戸塚区南西部のバスネットワークの維持と充実が見込めるようになりました。

連節バスの
定員は113人。
6両のバスが
運行します。



とっかの野菜で Cookingu

地場キャベツのパスタ

1

キャベツとお好みのウインナーを1口サイズにカットしておきます。



2
オリーブオイルをフライパンに入れて、ニンニクのみじん切りを入れます。香りが立ったら1の材料、茹でたパスタの順に炒めます。

3

塩と胡椒で味を整えたら出来上がり。ペペロンチーノ風に、唐辛子を加えて炒めでも美味しいです。



誰にでもやさしい街を。 女性議員として女性代表として三期目も働きます。



子育て

- 妊婦初診無料化、妊娠期や出産期の生活応援助成
- 育児休業明けとなる1歳児や2歳児の受入れ枠の拡大
- 一時預かり事業の拡充
- きめ細かい子供・子育て施策を横浜市独自で進め、国に対しても対応を求めています



安心・安全

- 避難ナビアプリなど活用し横浜独自の避難所受け入れや、必要物資・救急キットの市内各所への配布・活用システムを研究・検討します
- 消防士・消防団の訓練環境を整備します
- 大型公園の完全禁煙化を推進します
- 夜間でも誰もが安全・安全な道路環境を整備します



教育

- 増え続ける児童虐待、いじめに対応するため児童相談所のAI・ICT導入による体制強化
- 小・中学生に配布したタブレットへの相談アプリ導入を進めます
- 子どもを守り健全に育成するための議員提案条例の制定を目指します
- 学校のトイレ洋式化



環境

- 保土ケ谷ゴミ焼却処理工場再整備で最新の脱温暖化設備導入や余熱を活用した畑づくりなど環境学習機能を充実させます
- 省エネ再エネ設備の導入などによりスマート自治・町内会館化を目指し、地域社会からの啓発に活用します
- 「横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例」のもと横浜からカーボンニュートラル達成をけん引します



医療・福祉

- 希少がん研究、先進医療の積極導入などを推進します
- 米軍根岸跡地に市大医学部・市大センター病院の速やかな移転を進めます
- 要介護3以上の個別避難計画の策定を着実に進めます
- スポーツを通じて身体的障害・知的障害・精神障害など障害への理解を深め共生社会を目指します

チームゆきえ募集中!!

市政報告の駅頭配布、ポスティング、事務作業などをお手伝いしてくださる方を募集しています。未経験の方でもOK! まずはお気軽にお電話下さい。

お問い合わせ ☎045-443-5757

日々の活動は、ホームページ
または各種SNSで更新中!

公式
ホームページ

